



矢立

時を守り、場を浄め、礼を正す

校訓 可能性に挑む

学校教育目標

「自信をもって活動する生徒」

令和6年 第1号

令和6年度 第78回 富士宮市立富士宮第一中学校 入学式式辞より

色とりどりの花が咲き誇り、春の暖かい光が溢れる季節を迎えました。すべての命が輝く、この良き日に、公私ともに御多用の中、PTA会長・保坂様、同窓会長・前島様、学校評議員の皆様のお臨席を賜り、令和6年度、富士宮第一中学校、第78回入学式を挙げてまいりますこと、心からお礼申し上げます。

151名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。中学校の制服に身を包み、希望に満ちあふれている皆さんの姿は、この春の光と同様、とても輝いて見えます。在校生、教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

さて、新入生の皆さん、皆さんが生活している現代社会は、新しい技術の発展やAIの進化にともなう変化の激しい「予測困難な時代」と言われています。また、通信技術の進歩で世界中が一瞬でつながったり、様々な国の人々が世界中を行き来したりすることで、異なる文化や考えが混ざり合う「多様性の時代」と言われています。

このような時代を皆さんが生きていく力を身につけるために、3年間の中学校生活で2つの「C」を心がけて欲しいと思います。

二つのC。それは、「チェンジ」と「チャレンジ」です。

今日からの中学校生活で、皆さんはたくさんの新しいことに出会います。楽しいことやうれしいことだけでなく、困難や壁もあるでしょう。そんなときは、状況に応じた柔軟な発想や発想の転換が必要になります。チェンジです。

今の自分の価値観や考え方にとらわれなくて、様々な角度から物事を観察したり、周りの人からのアドバイスを受け入れたりして、目標や困難に挑戦するチャレンジ。挑戦した結果でさらに新しい自分になる。チェンジ。新しい自分になって次の新しいことにチャレンジする。

生物の「進化論」で有名な「ダーウィン」は言いました。「最も強い生物が、生き残るわけではない。最も賢い生物が、生き残るわけでもない。最も変化に対応できる生物こそがたくましく生き残る事ができる。

皆さんの可能性は無限大です。チェンジとチャレンジを繰り返して、中学校生活3年間でたくましく成長してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日から、大切なお子様をお預かりいたします。富士宮第一中学校教職員一同、一丸となって、子供たちに寄り添い、その成長を支援していきたいと考えております。今後も、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、本日御臨席の御来賓の皆様、保護者の皆様の御健勝を祈念申し上げますとともに、新入生の皆さんが、伝統ある富士宮第一中学校の校訓「可能性に挑む」のもと、心身ともにたくましく成長し、活躍することを期待して、私の式辞といたします。

令和6年4月5日

富士宮市立富士宮第一中学校 校長 山崎 匡史

入学式 「新入生誓いの言葉」

暖かな春の訪れとともに、私たち新入生 151 名は大きな希望を抱いて今日この富士宮市立富士宮第一中学校の門をくぐりました。本日はこのような素晴らしい入学式を行っていただき、ありがとうございます。

先日、私達はそれぞれが慣れ親しんだ小学校を卒業し、緊張と不安、そして沢山の期待の中で今日を迎えました。これからの中学校生活がどんな毎日になるのかを想像するだけで胸が高鳴ります。

中学校生活を送る上で私が頑張りたいことは2つあります。1つ目は勉強です。中学生になると小学生と比べ、一段と勉強が難しくなると聞いているからです。工夫して時間を作り、自分に必要な学習を自分で考え、進んで勉強に励みます。2つ目は、積極的に同級生や先輩方と関わることです。富士見小学校の仲間はもちろん東小学校や黒田小学校などから集まった仲間とも友情を深め、日々の活動や行事に進んで参加します。学校生活では大人に一步近づいたという自覚をもち、一つ一つのことに責任をもって何事にも全力で取り組みます。

中学校には生徒会活動があるので積極的に参加し、人のためになることを進んで取り組みたいです。分からないことばかりの私たちは、先生方や先輩方にご迷惑をおかけすることがたくさんあるかもしれません。どうか温かな目で見守っていただき、時には厳しいご指導をお願いします。最後に私たち新入生は富士宮第一中学校の一員として「時を守り、場を清め、礼を正す」を意識し何事にも全力で取り組んでいくことを約束し、誓いの言葉といたします。

令和6年4月5日 新入生代表 内野 貴都 さん



令和6年度職員 ~今年度もよろしくお祈いします~

